



2020年1月11日(土) チーム神於山 活動報告

2020.01.15
シャープ社友会
チーム神於山
真砂 記

■活動日：2020年1月11日(土) 10:00~14:30

■参加者：チーム神於山 8名

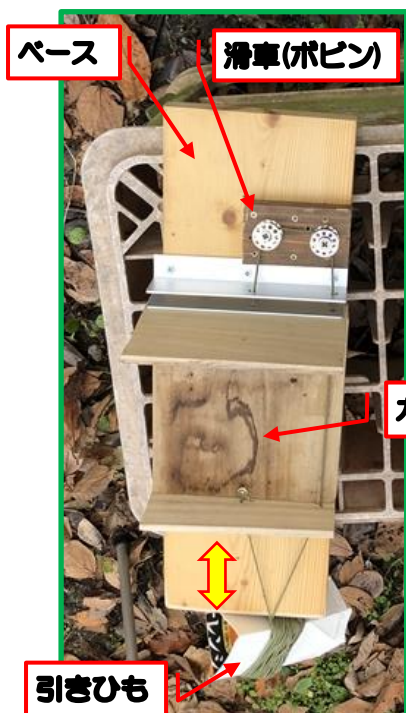
■活動内容

- ・今回は、2020年初の活動として、フクロウ観察用のトレイルカメラの取り付け用部材の設置と、昨年刈り残した上部植栽地のササ刈りに取り組み、ほぼ目標を達成することが出来ました。
- ・活動頂いた8名の皆さん。お疲れ様でした。
- ・収穫はシイタケで、新しく植菌した椀木を組むため取り外した古い椀木からも出ていて、この時期では考えられないほど沢山収穫することが出来ました。
- ・収穫が活動日に限られるので、形の良いドンコから笠が大きく広がったものまで様々ですが、味の良さは定評があるので8人で分けました。自然の恵みに感謝です。

■次回以降の活動テーマ

- ・今回で草刈りやササ刈りなど定番の活動が一段落しましたから、次回以降は、定例活動にフクロウの観察が入り
 - ① 上部植栽地の間伐、② 作業道の修復、③ 竹フェンスの再築、④ 倒木のヤマザクラの巨木の除伐
 - ⑤ 倉庫の機材の整理とメンテナンス、などが活動テーマになりそうです。
- ・別途ご案内しますので、奮ってご参加ください。

■新・トレイルカメラ取り付け部材 金井さん考案の部材。カメラの付け外しを安全に行うことが目的。



- ・トレイルカメラは巣箱とほぼ同じ高さに設置する必要がある為、活動日ごとに行う映像データの取り出しは、梯子を掛けて行う高所作業で、危険が伴います。
- ・金井さんが考案した方法は、「エレベーター方式」とも言えるもので、先ず滑車を付けた《ベース》を木に取り付け、カメラは《カメラボックス》に固定して紐で上げ下げして《ベース》に脱着する方法です。
- ・これにより高所作業は《ベース》を木に取り付ける時と、撤収する時の2回で済み、安全性が高くなります。
- ・また滑車には、ミシンの《ボビン》を使うなど、随所に工夫されています。



カメラと巣箱は、ほぼ同じ高さです。

- ・今年架けた二つの巣箱の近い木に取付完了。
- ・次回、実際にトレイルカメラを取り付けて上げ下げし、狙い通りうまく機能するか試してみます。



■上部植栽地のササの刈り込みほぼ完了。

広い上部植栽地がやっとスッキリしてきました。



今回も、手刈りと刈払機のコラボ作業です。



after

奥の植栽地から、観察エリア(★)に向かっての一枚。(○)は林道からの入口方面

After 1



観察エリアの右角から林道入口(○)に向かう斜面

- 上部植栽地は、林道と沢の間の斜面に繁茂していたササ原を刈り取って造成されていて、観察エリアは、林道から1/4ほど植栽地に入った部分にあり、植栽地を2分する形になっています。
- 左の観察エリアから林道入口までの間の斜面は、間伐がほぼ終わっていて、樹間が広く、木の幹も可成り太くなっています。

- 右の観察エリアから奥のフクロウの営巣地までの斜面は、間伐が疎らになっていることから、次回以降樹間5mを基準に伐るべき木を選別して間伐する必要があります。
- 間伐した木の幹の分節は、並行して行う予定の作業道の土止めなどに使います。



After 2



観察エリアの左角からフクロウの営巣地(◎)に向かう斜面



香遠さん差入れの餅を焼きながら・・・金井さんが 所用で 午前中で帰られたので写真は7名です。



(写真左) シイタケ大豊作。

- 新しく植菌した榎木を組むため取り外した古い榎木からも出ていて、この時期では考えられないほど沢山収穫することが出来ました。
- 収穫が活動日に限られるので、形の良いドンコから笠が大きく広がったものまで様々ですが、味の良さは定評があるので8人で分けました。自然の恵みに感謝です。

(写真右) 竹の伐りだし

- トレイルカメラを狙いの位置にセットするには3脚が必要とのことで3本伐りだしましたが、小さいカメラを取り付けるにはあまりにも仰々しく、目立ちすぎるので、一昨年台風で壊れたままになっている竹フェンス作りに使うなど、有効に活用します。



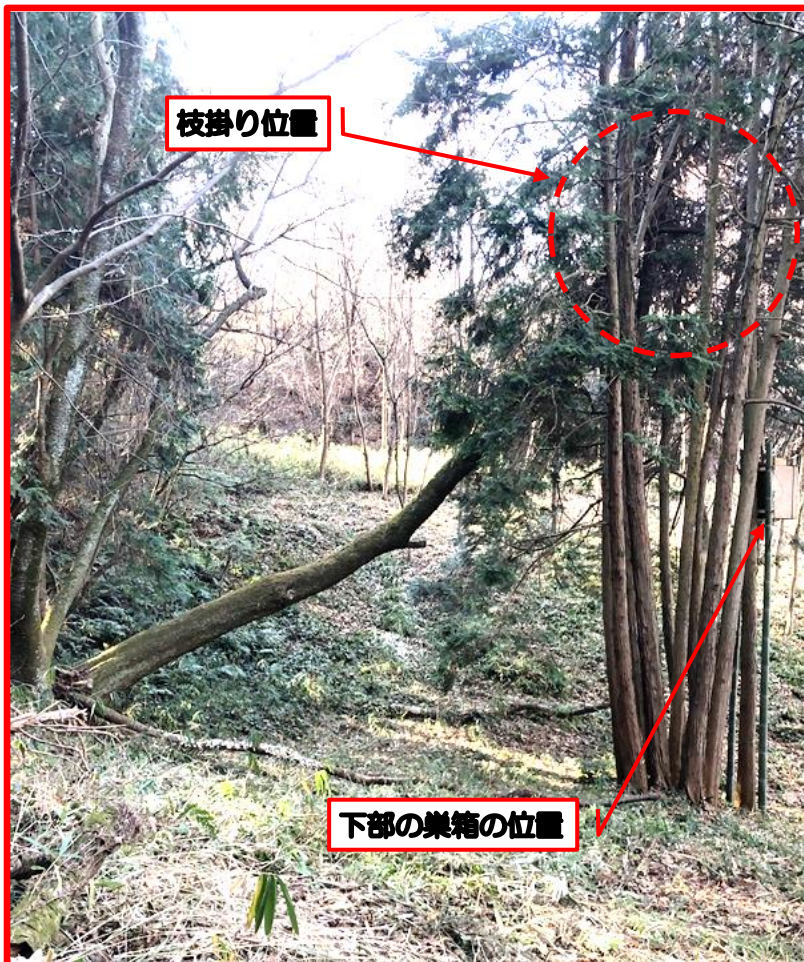
■フクロウの営巣地近くの自然木の除伐

《枯れた自然木の除伐》



- ・フクロウの営巣地の環境を良くするため、倒壊する危険性がある枯れた自然木を伐採しました。

《自然木のヤマザクラの除伐》



- ・上部植栽地の自然林ゾーンの境界線にあるヤマザクラの巨木が、一昨年台風で根元から倒れ、シャープの森の名物のヒノキの密集林に倒れ掛かり、枝掛りしています。
- ・根元近くでは直径が40cm強もある巨木で、地上10m近いところで複数の枝が枝掛りしていることに加え、名物のヒノキの密集林の一部も犠牲になりそうなので手が出ませんでした。放置することはもっと危険なので、今回の間伐期間中に除伐することにします。